

【担当者名】 太田亨 ohta@hoku-iryo-u.ac.jp
森谷 満

【概要】

医学の発展とともに日々変化していく医療の実際を学ぶためには、その基礎をなす内科疾患についての理解を深めることが重要である。このため内科疾患の病因、病態生理、症候、診断、検査、治療に関する知識を系統的に修得することを目標とする。

【学修目標】

各疾患（群）について病因、病態、診断および治療などを説明できることを目標とする。

1. 高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病について概説できる。
2. アレルギー、自己免疫疾患、感染症、血液疾患などについて概説できる。
3. 心不全などの循環器疾患、肺気腫などの呼吸器疾患などについて概説できる。
4. パセドー病などの内分泌疾患、腎不全などの腎・泌尿器疾患などについて概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	内科学総論	医学における内科学の意義について学ぶ。 内科診断のながれ：患者さんの訴えから検査、診断、治療について学ぶ。 臨床検査の概略について学ぶ。 生体機能検査について説明できる。 検体検査について説明できる。 各症状について説明できる 患者さんの診かた：診察方法について学ぶ。	太田 亨
2	循環器疾患（1）	心臓大血管の解剖と生理を学ぶ。 大循環、小循環、心臓弁、刺激伝導系 心不全、血圧および虚血性心疾患について学ぶ。 心電図の基礎を理解する。 主要症候について学ぶ。 貧血、浮腫、黄疸、胸痛、意識障害など	太田 亨
3	循環器疾患（2）	先天性および後天性の心臓異常を学ぶ。 不整脈および大血管の異常を学ぶ。	太田 亨
4	呼吸器疾患	呼吸器系の解剖および生理を学ぶ。 主要症候と病態生理を学ぶ。 感染性肺疾患について学ぶ。 慢性閉塞性肺疾患の病態、症状について学ぶ。 気管支喘息の病態、症状について学ぶ。 拘束性肺疾患の原因、病態などについて学ぶ。 原発性肺癌（合併症含む）について学ぶ。 肺循環障害（肺血栓塞栓症）について学ぶ。 胸膜・横隔膜の疾患について学ぶ。 睡眠時無呼吸症候群の分類、病態、症状、治療について学ぶ。 呼吸不全の分類、病態などについて学ぶ。	太田 亨
5	消化器疾患（1） （消化管疾患）	呼吸器系の解剖および生理を学ぶ。 主要症候と病態生理を学ぶ。 感染性肺疾患について学ぶ。 慢性閉塞性肺疾患の病態、症状について学ぶ。 気管支喘息の病態、症状について学ぶ。 拘束性肺疾患の原因、病態などについて学ぶ。 消化管の解剖および生理について学ぶ。 主要症候（特に吐血と下血）と病態生理について学ぶ。 胃食道逆流症、食道アカラシアについて学ぶ。	太田 亨

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>食道静脈瘤の原因（肝硬変、門脈圧亢進症）や病態について学ぶ。</p> <p>胃・十二指腸潰瘍の成因や症状について学ぶ。</p> <p>腸閉塞の病態、症状について学ぶ。</p> <p>虚血性腸炎の病態、症状について学ぶ。</p> <p>腸重積の病態、症状について学ぶ。</p> <p>虚血性腸炎の病態、症状について学ぶ。</p> <p>炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）の病態、症状について学ぶ。</p> <p>消化器癌（食道癌、胃癌、大腸癌）の特徴について学ぶ。</p>	
6	消化器疾患（2） （肝胆膵疾患）	<p>肝胆膵領域の解剖生理について学ぶ。</p> <p>肝胆膵領域の主要症候と病態生理について学ぶ。</p> <p>検査法（特に生化学検査）について学ぶ。</p> <p>急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎について学ぶ。</p> <p>ウイルス性肝炎の特徴について学ぶ。</p> <p>アルコール性肝障害の症状について学ぶ。</p> <p>肝硬変の成因、病態、合併症（門脈圧亢進症を含めて）、症状、検査異常について学ぶ。</p> <p>肝癌について学ぶ。</p> <p>胆石症、胆嚢炎、胆嚢癌について学ぶ。</p> <p>膵炎、膵癌について学ぶ。</p>	太田 亨
7	心身症	心身症についての解説	森谷 満
8	心身症	心身症についての解説	森谷 満
9	血液・造血管疾患・出血性疾患・血栓性疾患	<p>血液細胞の発生と役割を学ぶ。</p> <p>血液細胞異常について理解する。</p> <p>出血凝固異常を示す疾患について学ぶ。</p> <p>血栓性素因について理解する。</p>	太田 亨
10	代謝疾患	<p>三大栄養素の代謝調節の仕組みについて学ぶ。</p> <p>糖尿病の定義、病型、診断、検査、合併症（特に神経障害）、治療について学ぶ。</p> <p>低血糖症の原因、症状、対処法について学ぶ。</p> <p>脂質異常症の病態について学ぶ。</p> <p>メタボリックシンドロームの概念について学ぶ。</p> <p>高尿酸血症と痛風について学ぶ。</p> <p>骨粗鬆症と骨軟化症、くる病について、病態、検査、治療について学ぶ。</p> <p>ビタミン欠乏症と過剰症の症状について学ぶ。</p>	太田 亨
11	内分泌疾患	<p>内分泌系とホルモンについて学ぶ。</p> <p>下垂体疾患（先端巨大症、尿崩症など）の病態、症状について学ぶ。</p> <p>甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病など）の病態、症状について学ぶ。</p> <p>副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症ほか）の病態、症状について学ぶ。</p> <p>副腎疾患（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、アジソン病など）の病態、症状について学ぶ。</p>	太田 亨
12	腎・泌尿器疾患	<p>腎・泌尿器の解剖生理、主要症候と病態生理、検査について理解する。</p> <p>急性腎不全、慢性腎不全の病態、分類、症状について学ぶ。</p> <p>腎代替療法（透析）について理解する。</p> <p>糸球体疾患（急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など）について病態、原因を学ぶ。</p> <p>全身性疾患による腎障害（糖尿病腎症、腎硬化症など）について学ぶ。</p> <p>泌尿器疾患（腎盂腎炎、前立腺肥大症、神経因性膀胱など）について学ぶ。</p>	太田 亨

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	免疫・アレルギー・膠原病疾患（1）	アレルギーの種類と機序について学ぶ。 アレルギーの検査法について学ぶ。 アレルギー反応により発症する疾患の概要について学ぶ（アレルギー性鼻炎・花粉症、アトピー性皮膚炎、薬物アレルギー、金属アレルギーなど）。 アナフィラキシーの症状と臨床経過について学ぶ。 免疫機序と免疫異常症について学ぶ。 膠原病およびその類似疾患の定義および病態について学ぶ。 自己免疫疾患でみられる全身症状（皮膚、粘膜、関節、眼、耳、鼻、筋肉、神経、循環器、呼吸器、腎）について学ぶ。	太田 亨
14	免疫・アレルギー・膠原病疾患（2）	関節リウマチの病態、症状、検査所見、画像所見、治療について学ぶ。 全身性エリテマトーデスの病態、症状について学ぶ。 皮膚筋炎/多発性筋炎の病態、症状、合併症について学ぶ。 強皮症の病態、症状、合併症について学ぶ。 シェーグレン症候群、血管炎症候群、混合性結合組織病、ベーチェット病および膠原病類縁疾患の各疾患の病態、症状について学ぶ。	太田 亨
15	感染症疾患・中毒	感染症の種類と治療法を学ぶ。 さまざま中毒について学ぶ。	太田 亨

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（マークシート形式）100%。マークシート式で評価し、60点以上を合格とする。

【教科書】

浅野嘉延 編著 「なるほどなっとく！内科学 改訂2版」 南山堂 2020年

【参考書】

矢崎義雄 他 編 「内科学 第10版」 朝倉書店 2013年

【備考】

Google FormやManaba を活用し、資料配布や授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

予習は、各時限の講義項目の教科書領域を、一読し理解しておくこと(80分)。

復習は、講義項目の内容を記憶すること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

（DP4）関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

【実務経験】

太田 亨(医師)、森谷 満(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医師としての実務経験を活かした講義をすることで、医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。